

福住を訪ねて

「福の住むまちへ・自然と人の和と輪を生かして」をスローガンにまちづくりを行っている福住地区。近年、住宅街として発展する中、訪れてみたい自然や建物などが点在しています。今回は、そんな福住地区の名所や行事を紹介します。

▲中央にうらうちない川が流れる桜の名所、福住小川公園。多くの人々の憩いの場となっています。

次世代に伝えたい 福住の遺産



《福住の遺産リスト》

- ①A~I(9点) レンガ倉庫群
- ② 福住寺
- ③ 六軒村発祥の地
- ④ ハリストス正教会
- ⑤ 福住小川公園
- ⑥ 福住巖島神社
- ⑦ 力石 (⑥境内)
- ⑧ 福住開拓記念館 (福住まちづくりセンター隣)
- ⑨ 果樹園
- ⑩ プラタナスの大木 (ふくずみ幼稚園敷地内)
- ⑪ 玉田守殉死の碑
- ⑫ 桐の木の神木 (福住グリーン公園内)
- ⑬ ポプラ並木



▲①C りんご倉庫 (福住2条7丁目)



▲①E レンガサイロ (福住2条8丁目)



▲④ ハリストス正教会 (福住2条2丁目)



▲⑦ 力石 (福住1条4丁目)

残し、伝えたいもの

今年、開基140年を迎えた福住。平成6年に地下鉄福住駅が開設され、住宅街として発展する一方、豊かな自然や開拓の歴史を感じさせる建物などが数多く残っています。

福住地区まちづくり協議会では、次世代へ伝えたい建物や自然などの名所を調査し、「福住の遺産」として地域全体で保存・活用していくことで、福住の魅力をさらに高めようと活動しています。

現在13件が遺産に選定されており、きれいな色合いのレンガを巧みに積み上げたりんご倉庫やサイロが道行く人の目を楽しませています。また、地域の人が協力して設立した福住開拓記念館では、開拓当時の貴重な資料を見ることが出来ます。

地域みんなで大切に

こうした福住の遺産について、「地域のみんなで協力しながら大事に守っていききたい」と語るのは、まちづくり協議会の大友義見さん。活動を通して地域への愛着を深め、住民同士の交流のきっかけになることを期待しています。